

1. 2019年(平成31年-令和元年)度を振り返って

2019年度は5月1日の改元のために平成31年は4月の一か月のみでした。5月1日に新元号「令和」の時代を迎え、皇位継承に伴う「即位の礼」の儀式である「即位礼正殿の儀」や「祝賀御列の儀」が厳かに行われたのはまだ記憶に新しいことでしょう。

明るい事柄としてはラグビーW杯日本大会での日本8強、旭化成(株)吉野彰氏のノーベル化学賞受賞や女子ゴルフにおける渋野日向子の全英女子オープン優勝等々が挙げられます。

また、暗い事柄としては京都アニメーション放火事件、東日本での台風大雨被害、沖縄・首里城の焼失等で、現在進行形の新型コロナウイルス感染症(COVIT-19)はパンデミック(世界的な大流行)となってしまうました。

その他、10月1日よりの消費税率10%スタートでは軽減税率やポイント還元等の下支え策はありましたが、当協会ではボデーブローの様に財政に影響を及ぼしてきています。

また、徴用工問題に端を発した日韓関係の悪化はまだまだ長引きそうな雰囲気です。

経済面では日本経済は世界経済が減速する中で、前半の4-9月は比較的好調で、GDB統計は4-6月実質成長率+2.0%、7-9月同1.8%でした。しかし、10月1日からの消費増税による景気の冷え込み感プラス2020年に入ってから新型コロナウイルスによるパンデミックにより完全景気後退となってしまう、今後しばらくはマイナス成長になると考えられます。

政治面では米中貿易戦争、英国のBrexit、複雑化した中東情勢の緊張、北朝鮮問題、日韓対立等多くの不確実性を抱えこんだ年でもありました。今後もこのような時代が続くと思われます。以下、塗料業界について報告致します。

① 全塗料(シンナー含)生産量：

2008年のリーマンショック以前は190万トン前後で推移していたが、リーマンショックの影響で2009年は約150万トンまで減少してしまいました。その後は165万トン前後で推移しています。2019年は対前年比で99.7%の164.7万トンでした。(グラフ1及び番外の表を参照下さい)

② 粉体塗料生産量：

粉体塗料はリーマンショック前まで3万トン超あった生産量がリーマンショックで2.6万トンまで減少してしまいました。その後、2011年の東北大震災も乗り越え徐々に増え、2014年には過去最高の3.78万トンまで増加しました。その後3年間は3.5万トン強で推移、2018年よりまた少し増加傾向になり、2019年は対前年比106.8%と過去最高の3.99万トンとなりました。(グラフ1及び番外の表を参照下さい)

③ 全塗料(シンナー含)販売量：

全塗料はリーマンショック前までは200万トン前後で推移していましたが、リーマンショックの影響で164万トンまで減少してしまいました。その後170万トン前後で推移し、2015年

以降は175万トンを超えてましたが、2019年は対前年比96.9%の172.5万トンと減少してしまいました。(グラフ2及び番外の表を参照)

④粉体塗料販売量：

リーマンショックまで3.7～4万トンで推移していたが、リーマンショックの影響で3.1万トンまで減少、その後徐々に増加して2015年は4.77万トンと過去最高となりました。その後、2018年に5万トンをわずかに切る4.98万トンで最高値を更新しましたが2019年は対前年比96.3%の4.79万トンでした。(グラフ2及び番外の表を参照)

(4-9月と10-12月に分けての比較)

4-9月	：	全塗料生産量対前年比	101.4%、	販売量対前年比	99.3%
		粉体塗料生産量対前年比	107.3%、	販売量対前年比	98.3%
10-12月	：	全塗料生産量対前年比	95.8%、	販売量対前年比	91.2%
		粉体塗料生産量対前年比	105.0%、	販売量対前年比	91.9%

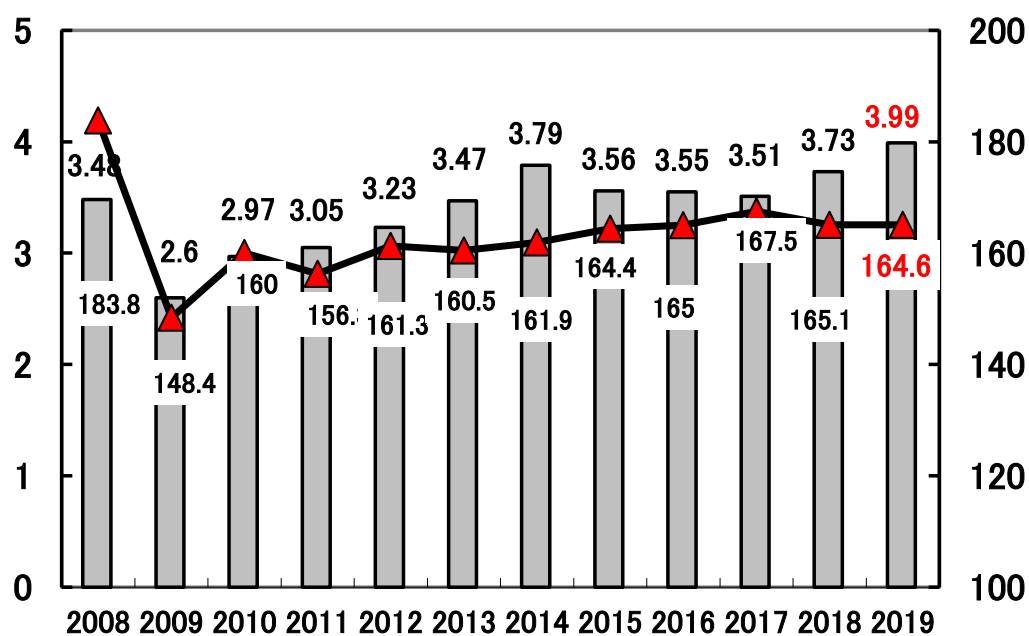
消費増税後は全塗料、粉体塗料共に増税前より落ち込んでいるが、粉体塗料生産量の落ち込みはそれほど大きくはなかった。粉体塗料の生産量と販売量における差を見ると、2015年を境に6,000トンから12,000トンに開き、2018年まで続いていたが、2019年は8,000トンと再度縮む傾向になった。これは在庫調整の関係か海外からの輸入量の減少が要因だと考えられるが、どちらにしても販売量は減少しており業界としては後退傾向にあると言える。年度の最終四半期である2020年1～3月は新型コロナウイルス感染症の影響で更に落ち込んでいると考えられ、長引けば更に落ち込む可能性があると考えます。

粉体塗装は溶剤をほぼ含まない環境に優しい塗装方法です。環境に係わる役所における対応が粉体塗装先進国である欧州や中国の様に溶剤系塗料から粉体塗料に少しでもシフトされて行くようになることを期待します。環境に優しい塗料と言っても多くの課題を確かに有しています。しかし、使用されて行く過程でその課題を克服することにより更に良い塗装方法になると考えます。

(2013年-2019年粉体塗料生産量及び販売量、全塗料の生産量及び販売量、シンナー生産量及び販売量、シンナー抜き全塗料生産量及び販売量データは番外として冊子の最後に参考として入れていますのでご覧下さい)

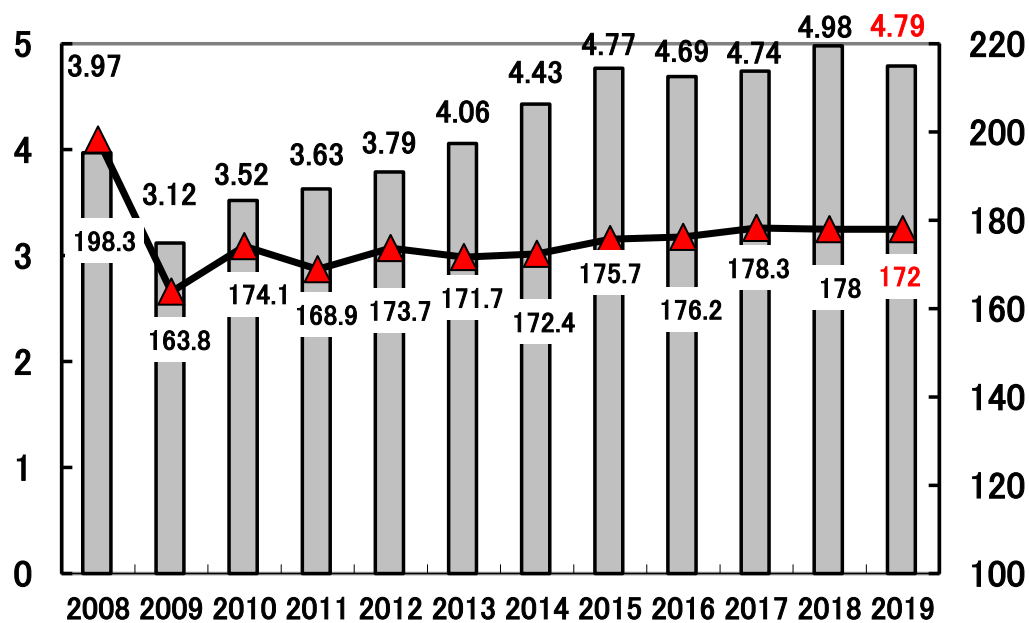
グラフ 1：粉体塗料生産量と全塗料生産量の推移 暦年（万トン）

（折線：全塗料 棒：粉体塗料）

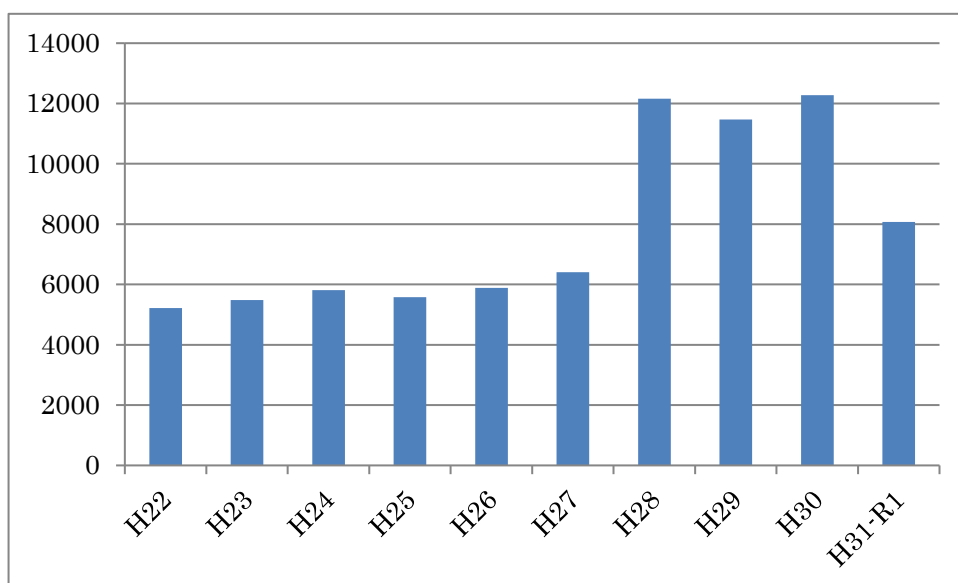


グラフ 2：粉体塗料販売量と全塗料販売量の推移 暦年（万トン）

（折線：全塗料 棒：粉体塗料）



生産量と販売量の差 （トン）



2. 2020年(令和2年)1月－3月の主な組合活動報告

(日本パウダーコーティング協同組合活動報告)

- 1) 1月22日 パウダー協第98回理事会及び2020年(令和2年)賀詞交歓会
経済産業省高橋課長補佐様、全国中小企業団体中央会 佐久間事務局次長様他
25名のゲストをお迎えし、総員77名で行われました。



年賀の挨拶をされる渡邊理事長 来賓ご挨拶(経産省高橋課長補佐様) 乾杯(全中 佐久間事務局次長様)

- 2) 1月24日 パウダーコーティング誌2020年新年号を発刊。
巻頭言 令和2年 新年ご挨拶 日本塗料商業組合理事長 海老名 孝氏
新年ご挨拶 IPCO 理事長 窪井 要氏
トピックス 粉体塗装機と粉体塗装設備(1)
パーカーエンジニアリング(株)、ノードソン(株)、旭サナック(株)、グラコ
(株)GEMA事業部、サメス・クレムリン(株)
海外便り ニュージーランド視察・研修旅行2019 (株)コーティングメディア
組合便り 2019年(令和元年)10月－12月の主な組合活動報告 他
- 3) 2月18日 粉体塗装研究会 2020(令和2)年第一回目セミナー 41名
1. 基礎講座「粉体塗装2」
2. UVパウダーコーティングの基礎講座と実用化の現状
3. 塗装業最前線報告(株)邦和工業様)
- 4) その他組合関係
① 1月23日 クオリコート委員会(軽金属製品協会にて)
② 2月13日 IPCO理事会&合同部会
③ 2月12日 2020年度第1回海外研修ツアー幹事会
- 5) 関係団体・関係会社等の総会・セミナー等

1月

- ① 6日 中部賀詞交歓会(名古屋)
② 8日 一社)日本塗料工業会 賀詞交歓会
③ 20日 日本塗装機械工業会互礼会

2月

- ① 13日 IPCO 理事会(高橋理事出席)

- ② 14日 (株)板通賀詞交歓会
- ③ 14日 東京工業塗装協同組合賀詞交歓会
- ④ 22日 神奈川工業塗装まつり(神奈川工業塗装協同組合主催、横浜にて)
- ⑤ 27日 アルミニウム合金製建築材料・粉体塗装の新たな促進劣化試験方法の開発講演会(一社)軽金属製品協会とABA主催)

* IPCO 一社)国際工業塗装高度化推進会議 * ABA アルミニウム合金材料工場塗装工業会

2020中部賀詞交歓会



来賓紹介にて



抽選にあたった(株)桂精機製作所萩原氏と会場風景

◇ 組合員入退会

・ ご入会(賛助会員)

(株)コーレンス 東京都港区六本木1-8-7

〔2019(令和 2)年2月付〕 海外製品の輸入、日本製品の輸出、技術サービス

代表者 Thomas Nolting 氏 責任者 佐々木 伸幸氏(取締役本部長)

ご担当者 菅原 剛氏(部長)

・ ご退会(組合員)

三条化工株式会社 東京支部 3/31付

2020年(令和2年) 1月24日

第98回理事会議事録

日本パウダーコーティング協同組合
福田 良介

- (1) 召集年月日 : 2019年(令和元年)12月 4日
- (2) 開催日時及び場所 : 2020年(令和2年) 1月22日(水)
午後2時—午後3時 30 分
メルパルク東京2F「桐」東京都港区芝公園2-5-20
- (3) 理事・監事の数及び出席理事・監事の数並びにその出席方法:
理事の数11名 監事の数3名
出席理事の数 15名の内 11名本人出席
出席監事の数 3名の内 3名本人出席
- (4) 出席理事の指名 : 渡邊 忠彦、長谷川 智久、板橋 一博、前島 靖浩、福田 良介、小澤 洋一、
片山 智彦、社本 吉正、新川 博文、高橋 大、村田 晋
- (5) 出席監事の氏名 : 近藤 旭、榛葉 幸宏、高橋 正
- (6) 欠席理事の氏名 : 高梨 裕幸、岩村 晃治、福田 訓之、新井 裕喜
- (7) 欠席監事の氏名 : 無
- (8) 議長の氏名 : 渡邊 忠彦
- (9) 議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名 : 福田良介
- (10) 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名 : 無し
- (11) 議事経過の要領及びその結果 :

〔1〕承認事項

- 1) 組合員及び賛助会員入退会について(決議)

2019. 9月—2019. 12月は入退会無しのために議決はなし。

(参考) 2019(平成31)年4月 — 2019(令和元)年12月末組合入退会リスト

* 新規入会

組合員 2 社

- ① (株)大瀧商店 2019(平成31)年3月25日入会届受理(正式には4月1日付)
和歌山県紀の川市田中馬場127-7 第95回理事会及び第23回総会にて承認済
代表者 : 代表取締役 大瀧 吉宏 廃棄物リサイクル業
- ② (株)シグマ 2019(令和元)年8月23日入会届 第97回理事会にて承認済
東京都中野区中野3-47-14シグマビル
責任者 : 代表取締役 村上 英明 担当者 : 生出 武
紹介者 : 高橋(正)監事 工業塗装用エアフィルター等

賛助会員 1 社

- ① 第一実業(株) 2019(令和元)年5月10日入会届受理(第97回理事会にて承認)
東京都千代田区神田駿河台4-6 お茶の水ソラシティ17F
担当者 : 事業企画部 部長 土手 康稔
プラント及び機械器具の国内販売

* 組合員脱会連絡

組合員 1 社 第97回理事会にて承認済

- ① 三条化工(株) 2019(令和元)年6月14日退会届受理
(正式退会は2020(令和2)年3月31日付)

* 会員数の推移

	2019(平成31)年3月31日現在	2019(令和元)年12月31日現在
組合員数	50	51
賛助会員数	22	23
合 計	72	74

2) 4月の決算理事会に關しての事務局よりの提案

(内 容)

これまで行ってきた4月中旬の理事会は5月総会当日の総会前に行う提案をした。

但し、4月中に事前の書類審査を受けておくことが前提。

以上に關して、全員の賛同を得たのでこの4月からこの方法で進めることにした。

2020年度は新型コロナウイルス感染症問題により、理事会は4月24日(書面決議にて)に実施、総会も委任状及び書面決議にて実施予定。議案は事前に配布。(この為理事会を4月に実施)

3) 一社)軽金属製品協会及びABA から要請の『アルミニウム建築材料の粉体塗装の新しい促進劣化試験方法について』の講演会開催について協賛依頼の件(別紙)

全員の賛同を得たのでパウダー協としてもメール、ニュースにてアナウンスを行う。

(1/27 メールにて送付。1/31 JAPCA News に掲載。)

〔2〕報告事項

第24期 4月 - 12月活動内容を報告。

報告事項についての審議は出席理事、監事全員の賛同が得られた。

〔3〕第24期予算と12月31日現在の実績を報告

報告事項についての審議は出席理事、監事全員の賛同が得られた。

〔4〕粉体塗装研究会における事業内容報告

報告事項についての審議は出席理事、監事全員の賛同が得られた。

〔5〕その他

① 関連団体報告

1) 一社)国際工業塗装高度化推進会議(IPCO) 高橋理事より(IPCO 副理事長) 合同部会、スキルアップ委員会等の報告。Good Coat 構想、SGD'sに關して等

2) アルミニウム合金材料工場塗装工業会(ABA)

近藤監事 ー近藤監事はABAにおいて専務理事

ABA 資格認定制度(個人付与)、3/12 ものづくり大学との勉強会及び ABA 総会等

② 支部報告

長谷川支部長(大阪) : 日鉄和歌山製鉄所工場見学会について他

前島支部長(愛知) : 11月の研修会報告

③ 皆様より近況報告

人がいない、消防の監査が厳しくなっている。業種間の格差が結構大きい。等

以上、14:00から初めて15:20に終了。

表紙解説

表紙絵画：小島輝夫

表紙写真

「春の彩り」

桜が満開になった頃、立川市にある「昭和記念公園」を訪れた。園内は満開の桜から新緑の木々、色とりどりに咲くチューリップやムスカリのブルーと春の色が一杯。来園者は溢れんばかりの春を満喫していた。

パウダーコーティング

ISSN 1346-6739

2020 年 4 月 24 日 Vol.20 No.2

発行所：日本パウダーコーティング協同組合(JAPCA)

東京都港区芝 5-31-16 YCC ビル 9F

TEL: 03-3451-8555 FAX: 03-3451-9155

URL: <http://www.powder-coating.or.jp>

制 作：パウダーコーティング誌 制作部

©2020 日本パウダーコーティング協同組合

本誌に記載されたすべての記事内容について、日本パウダーコーティング協同組合の許可なく転載・複写することを禁じる。

(参考資料)

I. 粉体塗料生産量及び販売量(暦年) 経産省統計より

1. 塗料生産量

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
粉体塗料	34555	34784	25962	29729	30451	32281	34683	37872	35567	35472	35092	37341	39879
全塗料	1939044	1838173	1484425	1600015	1563115	1613213	1605125	1619349	1644882	1650406	1674700	1650720	1645960
(内シンナー)	502507	471710	395307	426203	404140	431853	429374	423220	420765	425982	444241	448450	433294
シンナー除く	1436537	1366463	1089118	1173812	1158975	1181360	1175751	1196129	1224117	1224424	1230459	1202270	1212666
粉体塗料/全塗料	1.78%	1.89%	1.75%	1.86%	1.95%	2.00%	2.16%	2.34%	2.16%	2.15%	2.10%	2.26%	2.42%
同上(シンナー除く)	2.41%	2.55%	2.38%	2.53%	2.63%	2.73%	2.95%	3.17%	2.91%	2.90%	2.85%	3.11%	3.29%

2. 販売量

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
粉体塗料	39826	39736	31182	35216	36263	37858	40573	44281	47722	46937	47366	49778	47947
全塗料	2074873	1982615	1637544	1741377	1689423	1736795	1717492	1723788	1757250	1762126	1782540	1780381	1724648
(内シンナー)	542003	519801	435352	467117	438098	472950	470227	466976	465077	472308	491548	496260	468970
シンナー除く	1532870	1462814	1202192	1274260	1251325	1263845	1247265	1256812	1292173	1289818	1290992	1284121	1255678
粉体塗料/全塗料	1.92%	2.00%	1.90%	2.02%	2.15%	2.18%	2.36%	2.57%	2.72%	2.66%	2.66%	2.80%	2.78%
同上(シンナー除く)	2.60%	2.72%	2.59%	2.76%	2.90%	3.00%	3.25%	3.52%	3.69%	3.64%	3.67%	3.88%	3.82%

Ⅱ. 平成25～令和2年 全塗料及び粉体塗料生産量及び販売量(月別)

1. 粉体塗料

[illegible][illegible]

2. 全塗料(シンナー込)

[illegible][illegible]

3. シンナー

[illegible][illegible]

4. 全塗料生産量(シンナー含まず)

[illegible][illegible]

パウダーコーティング ISSN 1346-6739
二〇二〇年四月二十四日 Vol.20 No.2
定価 二〇〇〇円

発行：日本パウダーコーティング協同組合（JAPCA）
東京都港区芝五・三・一六 YCCビル
制作：パウダーコーティング誌制作部